みえ県議会だより

NO.137
平成26年（2014年）
10月1日

赤目四十八滝（名張市）

委員会の動き（P1～P3）

三重県議会では、現在、７つの常任委員会と１つの特別委員会を設置しています。

今回は、各委員会の県内調査の状況や県政運営等に関する知事への申し入れを中心にご紹介します。

みえ高校生県議会（P4）

初めて開催した、「みえ高校生県議会」をご紹介します。

総務地域連携常任委員会

行財政の運営や地域振興の推進、スポーツの振興、県南部地域の活性化などについて、審査・調査します。

【県内調査の状況】

【実施日　8月6日～7日】

老朽化や競技規則の変更により第1種公認陸上競技場としての施設基準を満たしていない箇所がある県営総合競技場において、平成33年の国体開催を見据えた整備計画の状況を調査しました。

続いて、伊勢市倉田山公園野球場において、伊勢市におけるスポーツ施設を活用した地域振興の取り組みやリニューアルされた球場の調査を行いました。

また、熊野市議会および山崎運動公園において、自主運行バスの現状と課題、高速道路開通や熊野古道世界遺産登録10周年を契機とした取り組み、熊野ソフトボールキャンプをはじめとしたスポーツ集客に関する取り組みについて調査しました。

最後に夢古道おわせを訪問し、設立の経緯から尾鷲の地域資源を活用して進めてきた数々の取り組みについて調査を行いました。

県営総合競技場での調査

戦略企画雇用経済常任委員会

県政の総合企画調整や雇用対策、エネルギー政策、産業振興（農林水産業を除く。）、国際交流および観光の振興、会計管理、監査その他行政運営の適正確保などについて、審査・調査します。

【県内調査の状況】

【実施日　7月24日～25日】

中小企業・小規模企業振興の観点から、三重県産業支援センターで経営相談や三重県版経営向上計画の作成支援状況などを、㈲すぎもと農園では販路拡大等における企業側の課題を、みえ熊野古道商工会では工夫した事業による地元小規模企業の支援状況を調査しました。

また、雇用対策の観点から、㈱百五銀行を訪問し、職場におけるワーク・ライフ・バランスの推進活動を調査しました。

さらに、観光産業の振興に関し、熊野古道世界遺産登録10周年にあたる今年の春にグランドオープンした鬼ヶ城センターで、誘客の実態を調査しました。

加えて、広聴広報の検証と充実に関して、全国広報コンクールで最高賞を受賞した紀宝町を訪ね、広報活動を調査しました。

みえ熊野古道商工会での調査

発行／三重県議会 〒514-8570 津市広明町13 TEL 059(224)2877　編集／三重県議会広聴広報会議